



私が院長を務める市立大森病院(昨年十月に市町村合併で町立病院から市立病院へ格上げされました)は、秋田県南部の豪雪地帯に位置する田舎の小さな病院です。  
常勤医師は九人。そのうち五人が自治医大卒業生です。私は一九九六年に着任して、以来十年間地域医療の壁に当たりながら何とか勤務してきました。

### 夕暮れ診療開始

当地域には高校も大会社もないため、多くの若い人は近隣市に通学・通勤しています。そのためか、日中病院に来る患者さんのほとんどは高齢者でした。着任当時「仕事を終えて帰って

# 地域住民の視点に立って

くると病院は終わっているの  
で、風邪をひいて病院に来るた  
めには仕事を休まないといけな  
い」との意見を聞くことがあり  
ました。そこで、学校や仕事の都合で

日中病院に来ることができない  
患者さんのため、夕方に診療し  
たらどうだろうと考え、職員の

同意を得て一九九七年から「夕  
暮れ診療」を開始しました。診  
療時間を夕方五時から七時に設  
定。診療には当直医が当たり、  
看護師二人、放射線技師・臨床  
検査技師・医事係・会計係を各  
一人配置しています。

また、当院では二〇〇三年か  
ら、自治医大卒業の女性医師が  
配置されたことをきっかけに、  
秋田県内で初めて「女性専用外  
来」を開始し、好評を得ていま  
す。

夕方に来院しても、必要な  
検査を含め診察を行い、会計も  
終えて薬をもらって帰ることが  
でき、日中に病院に来るとほ  
ぼ同じ体制を整えました。

### 女性専用外来も

当初、患者さんからは「夕焼  
け診療」や「日没診療」などと  
言われました。患者数も一日十  
人程度でしたが、徐々に増え、  
最近では「夕暮れ診療」もすつ  
かり定着して一日平均三十人ほ  
どの患者さんが利用します。特  
に冬期間、インフルエンザや風  
邪が流行する時期は五十一・六十

当初、八十歳の女性患者さん  
から「女性専用外来」を受診し  
たいといわれ、「定期的に私が  
診察しているから大丈夫だよ」  
と言ったところ、「私も女性で  
す」と言われ返事に困ったこと  
があります。



夕暮れ時の市立大森病院

## 秋田県横手市立大森病院

【私の勤務地】150床の病院で、老人保健施設・保健福祉センター・在宅介護支援センター・特別養護老人ホーム等を併設する。保健・医療・福祉・介護が統合された「地域包括ケア」の拠点を目指している。

(次回予定は東京都)